



第一幅



第三幅



第二幅

第四幅

鎌倉時代以降、仏教の広がりとともにさまざまな功績を残した聖徳太子を崇敬する信仰が盛んになり、それに伴って、太子の生涯を絵巻物で表した「絵伝」が多く作成されました。今回は高島市に伝わる聖徳太子絵伝をご紹介します。

安曇川町中野に伝わる聖徳太子絵伝は、室町時代に作成されたもので、『聖徳太子伝暦』をもとに聖徳太子の生涯が年代順に描かれています。第一幅は「托胎霊夢」と呼ばれる生誕から13歳までの幼少期、第二幅では排仏派の物部氏との合戦を中心に描かれた14歳から22歳、第三幅には23歳から37歳までの三宝興隆の詔・富士登山・新羅征伐・勝鬘経講賛などの説話が描かれています。そして、第四幅には38歳から葬送に至るまでが描かれ、最後の場面（第四幅右下）では、『伝暦』の内容とは関係のない太山寺創建のようすが描かれています。太山寺は、安曇川流域の阿弥陀山中腹に存在した、高島七ヶ寺の一つに数えられる天台寺院で、中野に伝わる絵

高島市の聖徳太子信仰

伝の旧所蔵者とされています。このように、絵伝の中に所蔵寺院の開基伝承を付加することは、その寺の権威を高めるだけでなく、在地の民衆に対して、より身近に感じさせる効果があったと考えられています。

なお、同じく中野に伝わったほぼ同時期の善光寺如来絵伝にも、仏教の日本伝来とともに聖徳太子の活躍が描かれています。

写真：聖徳太子絵伝 市指定文化財 龍谷大学龍谷ミュージアム寄託

図文化財課 ☎ (25) 8559

編集感

令和3年1月号発行しました。本年もよろしくお願いたします。

昨シーズンは雪も少なく、市内の冬の絶景を撮影するために購入したスノーシューも出番がなく、「今年こそは!」と意気込んでいます。

もし願いが叶うなら、山とスキー場だけ雪が積もって欲しいです(≧人≦)(Y.O)

